

No.23

中井町

ひだまり

2016年9月1日号

男女共同参画
推進講演会



講師：大崎 麻子氏

(ジェンダー専門家・関西学院大学客員教授)



男女共同参画と地域防災 ～男女が共に支え合い、助け合うために～

東日本大震災で注目された問題の一つに「女性目線での防災対策の欠如」がありました。講演会では「男女共同参画と地域防災」をテーマに、被災地での女性支援の実態や、避難所運営から得た教訓について、大崎先生よりお話いただきます。

この機会に、男女共同参画の視点から考える防災について学び、男女共同参画について考えてみましょう。

【日時】平成28年9月26日(月) 午後2:00～午後3:30

【場所】中井町農村環境改善センター 2階 研修室

【申込】中井町地域支援課まで TEL、FAX、Eメールで

【託児】要予約 1歳～未就学児

【問合せ先】中井町 地域支援課 TEL:81-3907 FAX:81-1443

E-MAIL:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp

※申込用紙を地域支援課、井ノ口公民館、町HPで配布しておりますので、ご活用ください。

●男女共同参画と防災

東日本大震災から5年が経ち、そして今年の4月には熊本地震が発生しました。もし自分が被災したら、生活はどのように変わってしまうのか考えたことはありますか。

家屋の崩壊、ライフラインが壊滅的な打撃を受けると、多くの人が避難所生活を余儀なくされます。避難生活の困難さは、性別や年齢、個人が家族や地域で置かれている立場などによって違います。

今回は男女共同参画の視点から、避難所生活や日ごろの備えについて考えてみましょう。



●ニーズの違いを知ろう

東日本大震災の際、避難所の運営の中心を担うことが多かった自治会長は、ほぼ男性でした。そのため、女性等への配慮の必要性の認識が十分浸透していなかったことが指摘されています。地域のリーダーはもちろん、地域全体で、男女間での考え方の違いを知っておきましょう。



どの場所も男女共有なの？

更衣室や物干しスペース、さらにはトイレも男女別になっていない、また、授乳室等の女性専用スペースが用意されていないと、女性にとって利用しづらくなってしまいます。



物資を配ってるのが男の人だけだ...

避難所のリーダーや物資担当者が男性ばかりだと、女性用の物資が届いても男性が配付しているため、受け取りに行きづらくなってしまいます。
また、女性や高齢者、乳幼児用の物資の不足も問題になりやすいです。

男だから、なんでもがまん??

避難所や支援物資の配給等で、「男なんだから、がまんしろ」と男性より女性が優先されている実例が挙げられています。「男女共同参画」の考えが間違った方向へ行き過ぎてしまうと、「男性差別」に繋がってしまいます。



私たちの意見も聞いてほしい！

避難所運営や復興の議論の場は、男性中心になりがちです。議論の場に女性が参加していないと、女性の意見を把握することができず、男性目線の発想や考えになってしまいます。

●日ごろから備えるべきことは



【積極的なネットワークの構築】

日ごろから育んでいる地域ネットワークは、災害時の声かけなどに大いに役に立ちます。特に、ご近所づきあいが得意な人に地域ネットワークの中心として活動してもらえると、コミュニケーションが上手く進みます。



【男女共に地域活動へ参加】

災害時に男女が共に支え合うためには、普段からみんなで防災について話し合い、活動しておくことが必要です。地域の活動は、男性中心に進めるのではなく、女性も「主体的な担い手」として位置づけることが重要です。

【他にも...】

- ◆町の防災訓練や宿泊訓練に参加して、**シミュレーション体験**をしてみましょう。
- ◆女性防災リーダー等の育成を地域で行いましょう。
- ◆性別に配慮した避難所運営マニュアルを作成しましょう。



●中井町で行われた、広域避難所宿泊訓練の様子

中井町では、避難所設営や炊き出し、そして実際に避難所に宿泊するという訓練を行っています。一般の町民の方が参加できる場合もありますので、ぜひ積極的に参加してみてください。



●実際に避難所を設営します



●女性専用テントです



●避難所の運営について話し合います

●おわりに



実際に避難所生活が始まると、「つらいのはみんないっしょ」、「命があるだけでもよしとしよう」という空気になってしまい、意見を言いづらくなってしまうようです。

日ごろから地域で防災について話し合い、女性にも男性にも配慮した避難所運営ができる体制をあらかじめ整えておきましょう。

◆ 9月は、「中井町男女共同参画推進月間」です

中井町では、9月を「男女共同参画推進月間」として、講演会や各種啓発活動を通じて、男女共同参画に対する理解を深め、職場、学校、地域、家庭など日常生活の中に男女共同参画の定着が図られるよう推進をしています。

家庭や地域で、男女共同参画について話し合ってみてください。
また、男女共同参画についてより理解を深める第一歩として、講演会への参加をお待ちしています。



◆ 中井町男女共同参画推進懇話会



女性の社会進出が進んでいますが、日常生活の中で、男女間の不公平感を感じたり、あるいは大事な意思決定の場に女性に加わることができなかつたりとする例も多く見られます。

このため、家庭で、学校で、職場で、地域で男女が性別にとらわれず、それぞれのもつ個性と能力を発揮できる社会づくりが求められています。

男女共同参画社会の形成に向けて、町民の方と行政とが協働により施策の効果的推進を図るため、中井町男女共同参画推進懇話会が平成17年より設置されています。

これからも、男女共同参画社会の実現に向け、今後も各種事業に取り組んでまいります。

● 男女共同参画推進懇話会委員（敬称略）

会 長 小松 芳子

副会長 曾我 節子

委 員 松田 智子 加藤 充一

岡田 眞枝 城所 節子



「ひだまり」への御意見、御感想をお寄せください。お待ちしております。



編集 / 中井町男女共同参画推進懇話会 発行 / 事務局 中井町地域支援課

〒259-0197 足柄上郡中井町比奈窪 56 番地

TEL:0465-81-3907 FAX:0465-81-1443 E-MAIL:chiiki@town.nakai.kanagawa.jp